

新7/8年需給見し(9/18農林水産省)

ポイント

◆供給
7年産生産量 683万t→728～745
更に、備蓄米も加えると総供給量は
908～929万t(+67～85)

◆需要
需要量は、697～711万t

結果、2026年6月末在庫は、198～
229万t(+20～51万t)

6/7年と7/8年の比較でみると、需要
量は横ばいしないしはやや減少。
総供給量は、最大で+58万tとなり、
在庫は、1年間で最大で+72万tも膨
れあがる推計となる。
それ以外に、SBS、枠外輸入がある

令和6/7年の主食用米等の需給見通し		単位：万 t（玄米）		
		R7年5月 基本指針	需給見通し (案)	増減
令和6年6月末民間在庫数	A	153	153	0
令和6年産主食用米等生産量	B	679	679	0
政府備蓄米供給数量	C		36	36
令和6/7主食用米等供給量計	D=A+B+C	832	868	36
令和6/7主食用米等需要量	E	674	711	37
令和7年6月末民間在庫量	F=D-C	158	157	-1
令和7/8年の主食用米等の需給見通し		単位：万 t		
令和7年6月末民間在庫数	F	158	157	-1
令和7年産主食用米等生産量	G	683	728～745	45～62
政府備蓄米供給数量	H	0	24	24
令和7/8主食用米等供給量計	I=F+G+H	841	908～926	67～85
令和7/8主食用米等需要量	J	663	697～711	34～48
令和8年6月末民間在庫量	K=I-J	178	198～229	20～51

「お米に関する意識調査2025」の結果。

9月上旬、全国1,037人にウェブで訊いたもので、クックパッドユーザーが回答者のため食(料理)への意識が高い人たちの意見だと言える。

「新米が店頭に並ぶ時期を意識している」と回答したのは
65.6%を占め、全体の88.9%が「新米を買いたい」とも答えた。

合わせて、「通常より高い価格でも購入したいか」との質問に対しては、「(通常より高くても)5kg5,000円未満なら購入したい」が74.6%と最多を占め、「通常の価格でないと購入しない」は16.9%に留まった。

こうした新米の購入希望価格を世帯人数別に調べると、「通常の価格でないと購入しない」は1～3人世帯の14.7%に対し、4人以上世帯では21.9%まで拡大しており、家族が多い家庭ほど支出を抑えたい意向が見て取れる。
さらに、「新米を購入する際の重視点」(複数回答可)は「価格」が73.5%と圧倒的で、次いで「銘柄(ブランド)」53.1%、「品種」38.2%、「産地」34.9。

